

会 議 録

会議名 (審議会等名)	平成17年度 第3回 川西市青少年センター運営委員会		
事務局 (担当課)	教育振興部 青少年センター 内線(4500)		
開催日時	平成18年 3月28日(火) 10:00~11:30		
開催場所	川西市ふれあいプラザ3階 研修室		
出席者	委員	村木 修、生田 収、森田文英、松尾幸恵、秋田修一 鈴木富士雄、長船幸夫、佐伯直樹	
	事務局	仲 義弘、松岡寛一、元井悦夫、上中敏昭	
傍聴の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 可・不可・一部可	傍聴者数	0人
傍聴の不可・一部不可の場合は、その理由			
会議次第	1・開会 2・会長あいさつ 3・協議事項 (1)平成17年度 川西市青少年センター事業総括 (2)平成18年度 川西市青少年センター事業方針 4・その他 5・閉会		
会議結果	協議事項は(案)どおり了承		

1・開会

2・会長あいさつ

あと数日で3月が終わり、新しい年度を迎える時期になりました。過日、卒業式に出席し立派に卒業する子ども達の姿を見ることが出来ました。これも皆様のお陰と思っています。人事が発表され新しい体制で取り組んでいきます。今日は、一年間通しての事業の総括と来年度の事業について協議をお願いします。

3・協議事項

(1) 平成17年度川西市青少年センター事業総括について

<事務局説明>

質疑応答

(委員)

地域・学校情報の名簿収集事案が平成16年度は28件で平成17年度は0件になっているがどういうことか聞きたい。

(事務局)

平成16年度までは、小学校低学年児童を中心に業者らしき者が連絡網を言葉巧みに聞き出す事案が多くありました。振り込め詐欺、オレオレ詐欺に使われていた疑いももたれています。学校、保護者等が児童へ注意や呼びかけをした事が要因でもあり17年度は、名簿収集事案の報告を受けていません。

(委員)

17年度、学校は連絡網を作成し配布していないのでしょうか。

(事務局)

連絡網は、各学校によって作成しているところとしていないところがあります。作成しているところも、取り扱いにつきましては工夫をし慎重に行っています。

(委員)

東播地区や西播地区では、名簿収集事案が今年度も発生しているようです。

(委員)

1、主要な実施項目の(1)の安全講習の件で、学校において実施しているとありますが、学校以外で例えば、児童館・公民館等の社会教育において小中学生が集う各種教室が催されています。相当の人数の子ども達が活動をしている為、社会教育方面にも安全講習をしてもらいたいと言う声を関係者の方から聞いています。

(事務局)

平成17年度教育情報センター主催の研修の一環として、不審者対応訓練を実施しました。教員だけではなく、学校ボランティアの方や留守家庭児童育成クラブ指導員の方等も参加して頂いていました。情報センターと相談をして、前向きに検討していきます。

(委員)

地域の連携が取れるようになってきています。多くの方々が目を光らせ、安全の部分だけではなく、非行防止も繋がって来ています。ただ、この様な体制がいつまで続いて行くのかと思います。このまま続く事で何らかのしわ寄せがくるのではないかと心配をします。もう一つは、安全確保は叶ってきましたが、学校安全協力員の組織化が進みボランティアが増えています。ある方は、地域連携を義務的に捉えら

れているので、ボランティアの意義の再確認が必要と思います。

(委員)

川西市は、広報車による巡回活動を行っている事を、市民からの声として良く耳にします。今後、活動は継続するのでしょうか。

(事務局)

川西市は8台の公用車で16小学校校区を3月24日まで巡回活動を行ってきました。今後について、継続は決まっています。

(委員)

学校安全協力員を今年度から実施しました。地域によっては少し混乱が生じている所がありますが、時間を掛けて丁寧に取り組んで行く事が必要だと思います。

(委員)

学校安全協力員について学校現場から申します。広島県、栃木県の事件を受けて緊急に問題が浮上してきました。それ以前からも地域ボランティアはあったのですが、地域によって差を感じています。学校安全協力員について、いろんな問題を抱えながら自分もいつまで続くか悩みました。1月10日に学校だよりで保護者に呼びかけ、1月末頃に趣旨説明をしました。3月末で約100名の方々が参加していただき、保護者だけでなく高齢者の方が多いのが現状です。役割の位置づけとしては、将来的に善意に対応して頂く方と位置づけています。長続きする方法として、あくまでもボランティアである事を主として孤軍奮闘してもらっています。又教師の方も組織対応が必要になり、機運と言う事で成果が上がってきています。やがては、地域、コミュニティーの中で子どもの健全育成、安全を掲げて取り組んで頂ければ有難いと思います。

(委員)

協力体制は随分できています。市教委でも指導助言していく必要があります。学校と地域の働きかけをし、最終的にはコミュニティーの取り組みが定着していけば良いと思います。

(2)平成18年度川西市青少年センター事業方針について

<事務局説明>

質疑応答

(委員)

安全安心事業について来年度の予算は議会で可決しました。そのことについて。

(事務局)

安全マップを16小学校校区で作成しています。子どもの視線で危険箇所等を地図に落として保護者や関係者に配る予定です。安全マップ・その他グッズで500万円と青少年センターの事業で安全旗が30万円の予算です。18年度市内全中学校に防犯カメラを設置します。他に防犯ブザーを新小学1年生に配布します。

(委員)

安全マップ予算は嬉しい。阪神南北の生徒指導連絡協議会で意見や情報交流をしました。他市に於いても同様な事業を行っています。1~2年経てばどうなるか心配しています。学校が基本的にすることは、物を使ってどの様に自分達で身を守るか。万一の時にどうするかが学校教育や地域教育であると思います。そのあたりはどうでしょう。

(事務局)

16年度に防犯ブザーを小学生に配布した時は、意識が高かったがその後は沈静傾向でした。安全旗やマップがあるからではなく、それをどの様に使うか、方法を学校・地域で考えて欲しいと思います。例えば子ども達が110番のおうちへ安全旗を持って行くウォークラリーも一つの方法として必要と思っています。今後、旗の配布方法等も考えて行こうと思っています。

(委員)

警察からもウォークラリーをして欲しいと言われていました。

(委員)

18年度の危険箇所と19年度の危険箇所は変わって行くであろう。そうなれば、予算はつけてもらえるのでしょうか。

(委員)

予算は付かないことを前提に考えて取り組んで欲しい。継続性を持つためにどうするか考え、作成の留意点や方法を検討し、家庭、地域へも情報として流すことが必要であります。市教委としても取り組んで行きたい。

(委員)

継続的に取り組む為には、コミュニティーの協力がないと1～2年で終わりそうです。これから工夫をして欲しい。18年度重点事業(1)学校との連携により、問題行動を起こす生徒への指導(充実)ですが、地域で問題行動を起こす青少年の指導を地域からも求められています。学校と地域の連携も行われるように青少年センターにも協力をお願いしたい。

(委員)

壊れたと言う理由で、防犯ブザーを持って歩いていない子どもが増えています。今後どうするか心配です。

夜間営業の店舗へ常識では考えられない時間に親が子どもを連れて行くことがあります。地域からも店舗へ営業の自粛を要望する必要があるが、教育委員会として店舗へ協力依頼はできないのでしょうか。

(事務局)

防犯ブザーは貸与という形を取っています。校長会、教頭会で現状を聞き対応していきたいと思います。予備については各学校にあります。

(事務局)

大手スーパー営業説明会で以前に聞きました。川西市では、全国一律に本部から指示があり、市や個別店舗単位での対応は難しいと言われていました。今回の県青少年愛護条例一部改正で子どもが深夜出られない方策がとられていくと思います。

(委員)

昨年末に川西市猪名川町安全対策防止会議を川西警察の発声で実施しました。大変規模の大きい会議であるので直ぐに実行できる効果がありました。この様な会議は継続できないのか。川西市単独でもできたらと思います。あの会議は、市役所の総務課が所管しました。教育委員会だけでなく川西市全体として提案してほしい。

(委員)

社会教育ラインしか知らないが、ウォークラリーは市全体で取り組めば良いと思い

ます。

4・その他

(事務局)

兵庫県青少年愛護条例改正内容説明

(委員)

店舗への周知徹底はいつどんな形をするのでしょうか。

(事務局)

兵庫県から店舗へすでに通達があり、4月以降に県民局から指導があります。

(委員)

周知させる方法として保護者へプリントを渡したい。

(事務局)

中学1年生と保護者へ配布するリーフレットが県から送られてくるので、内容を見て増し刷りを考えています。

次回、平成18年度第1回青少年センター運営委員会は7月中旬に予定し後日調整すると事務局から説明し了解された。

5・閉会

第3回川西市青少年センター運営委員会を閉じさせていただきます。今後ともご協力をお願いいたします。